

だい き よこはましょがいしゃ しみんせつめいかいしりょう
第4期横浜市障害者プラン 市民説明会資料

だい き よこはましょがいしゃ
第4期横浜市障害者プラン
れいわ ねんど ふ かえ
令和6年度の振り返りについて

れいわ ねん がつ
令和7年10月
よこはましけんこうふくしきょく せいしおうねんきょく きょういくいいんかいじむきょく
横浜市健康福祉局・こども青少年局・教育委員会事務局

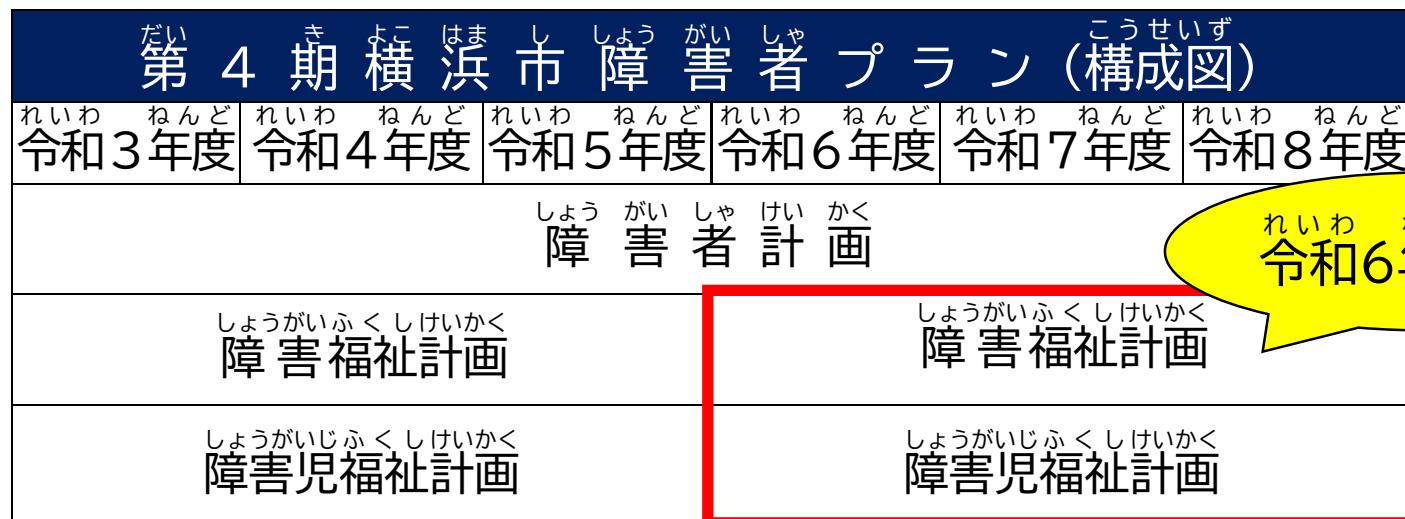
だい き よこ はま し しょ う がい しや れい わ ねん ど ふ かえ 第4期横浜市障害者プラン令和6年度振り返りについて

1 障害者プランについて

だい き よこ はま し しょ う がい しや れい わ ねん ど れい わ ねん ど ねん かん
第4期横浜市障害者プランは、令和3年度から令和8年度までの6年間を
けいかく きかん さだ しょ う がい ふく しけいかく およ しょ う がい じふく し
計画期間として定めています。このうち、「障害福祉計画」及び「障害児福祉
けいかく ねん けん しょ う み な お お こ な
計画」については、3年ごとに検証と見直しを行うこととしています。

こべつじぎょう ないよう み な お しょ う がい ふく し ひつよう り よう
そのため、個別事業の内容の見直しや、障害福祉サービスごとに必要な利用
みこ り よう と う せ つ て い れい わ ねん ど か い て い お こ な
の見込み量等を設定し、令和6年度に改定を行いました。

ねん ど ごと ふ がえ じ っ し
また、年度毎の振り返りを実施しています。



2 第4期障害者プラン令和6年度の主な事業の振り返り

※全ての事業の令和6年度実績と振り返りは、別冊の資料に記載しています。

※令和6年度実績

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果は得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

ページ 頁	事業名	事業内容	目標	評価	振り返り
29	「地域共生社会」の実現に向けた取組等の推進	地域のあらゆる方が、「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の	推進	○	障害者週間において、新都市プラザや市庁舎アトリウム等でイベントを実施し、さまざまな機関と連携しながら、広く市民に対して障害理解

		じつげん む しようがいしゃ 実現に向けた「障害者 しゅうかん とりくみ 週間」などの取組を じっし すいしん 実施・推進していきます。		ふきゅう けいはつ おこな の普及・啓発を行いました。
30	とうじしゃ 当事者や しようがいふくし 障害福祉 かんれんしせつ 関連施設、 しみんだんたいとう 市民団体等に ふきゅう による普及・ けいはつかつどう 啓発活動への しえん 支援	セイフティーネットプロジ エクト横浜(S-net横浜) しようがいふくしかんれんしせつ や障害福祉関連施設、 しみんだんたいなど 市民団体等による障害 りかい 理解のための研修や こうえん 講演、地域活動を支援・ きょうどう 協働するなど、様々な ふきゅう 普及・啓発を推進します。	すいしん 推進	○ セイフティーネットプロジ エクト横浜(S-net横浜) とう 等の障害理解に係る ふきゅう 普及・啓発活動(コミュニ とう ケーションボード等の ふきゅう 普及啓発、研修会、地域 ぼうさいきよてん 防災拠点での当事者によ こうえんなど る講演等)を通じ、障害 りかい 理解の推進に取り組みま した。

※セイフティーネットプロジェクト横浜は、横浜市内の15の障害福祉関係団体と期間で組織されています。当事者家族が主体となって、自分たちのできることから活動していくことを大切にしながら、地域の人々へ様々な障害についての理解を深めてもらい、障害のある人が地域で安心して暮らしていけるよう、活動しています。

36	<p>障害福祉 人材の確保 (職員の 定着)</p>	<p>障害福祉サービス 事業所等に対し、研修を 行うなど、人材定着に 向けた支援を実施しま す。</p>	推進	△	<p>障害福祉分野の事業所 における人材の定着等 に関する課題等を明らか にすることを目的に、 市内障害福祉サービス 事業所・施設の障害福祉 人材に係る状況調査を 行いました。</p>
----	--	--	----	---	--

75	<p>高齢化・ 重度化対応バ リアフリー 改修事業</p>	<p>グループホームを利用する 障害者が高齢になり、 それに伴う身体機能の 低下等により、従来のホ ームの設備で生活するこ とが困難となる場合で も、居住しているホーム で安心して生活し続ける ことができるよう、バリア フリー等改修に係る経費 を補助します。</p>	実施	△	<p>3ホームにエレベーターや スロープ等を設置しまし た。</p>
83	<p>医療的ケア 児・者等</p>	<p>受入体制の充実を図る ため、所属する施設・</p>	推進	○	<p>5月から12月まで医療的 ケア児・者等支援者養成</p>

	支援者養成 しえんしゃようせい	事業所等において、 医療的ケア児・者等の 受入れを積極的に行え るよう、支援に必要な 知識・技術の普及啓発を 行う支援者を養成しま す。		研修を実施し、64人の 横浜型医療的ケア児・者 等支援者を養成しまし た。
91	消費者教育 事業 じぎょう じぎょう	障害者、家族及び支援者 が、商品・サービスの 利用及び契約に関わるト ラブル等を学ぶことによ り、安心した日常生活を 送れるよう、意識啓発を 図ります。	すいしん 推進	△ 事業の継続性や学校等の 負担も踏まえ、事業継続 できる形での意識啓発 手法を検討しました。

99	<p>いどうじょうほう 移動情報セ ンター運営等 じぎょう すいしん 事業の推進</p>	<p>いどうしえん かん じょうほう 移動支援に関する情報 しゅうやく ひとり を集約し、一人ひとりに てきせつ じょうほう あつた適切な情報を ていきよう いどう 提供することや、移動 しえん ささ じんざい 支援を支える人材の はっくつ いくせい おこな いどう 発掘・育成を行 う移動 じょうほう ぜんく 情報センターを全区に せつち しない ちいき 設置し、市内のどの地域 いどうしえん しく でも移動支援の仕組みを こうかてき りよう 効果的に利用できるよう にします。</p> <p>すいしん じょうがい 推進にあたっては、障害 しゅべつ かか りよう 種別に関わらず利用しや すい仕組みとなるよう、</p>	<p>そうだん 相談 けんすう 件数 3,600 けん 件</p>	△	<p>いどうじょうほう 移動情報センター職員 じょくいん そうだんたいおうりょく の相談対応力・コーディ のうりょく こうじょう はか ネート能力の向上を図 しんにんしょくいんむ ために新任職員向け けんしゅう たんとうしゃかいぎ 研修や担当者会議を じっし 実施しました。</p> <p>かくく すいしんかいぎ また、各区の推進会議で そうだんないよう じれいきょうゆう 相談内容の事例共有や くいき いどう かんれん 区域の移動に関連する しゃかいしげん れんけい ふか 社会資源との連携を深め ました。</p> <p>そうだんけんすう もくひょうち たっせい 相談件数は目標値を達成 することはできませんで いどうじょうほう したが、移動情報センタ</p>
----	--	--	---	---	---

		いどう かんれん しゃかいしげん 移動に関連する社会資源 との連携を更に進めています。		しゅうち はか 一の周知を図りセンター が広く認知されたため、 相談件数は増加しています。 【相談件数】 れいわ ねんど けん 令和6年度:2,561件
107	よこはましこうきょう 横浜市公共 サインガイド ラインの運用 すいしん 推進	こうてききかん せっち 公的機関により設置され る歩行者用案内・誘導サ インの規格や表示内容等 の統一を図るためのガイ ドラインの運用を推進し ます。 また、公共サインの掲載 基準等について必要に応	すいしん 推進	△ こうきょう けいさいきじゅんとう 公共サインの掲載基準等 みなお について、見直しの ひつようせい 必要性がありませんでした ひ つづ た。引き続き、ガイドライ ンの運用を推進するとと もに、より歩行者にわか りやすいサイン整備を ゆうどう せいび 誘導していきます。

		みなお けんとう じて見直しを検討し、よ り歩行者に分かりやすい せいび すす サイン整備を進めていき ます。			
115	ざいたくりょうようじ 在宅療養児の ちいきせいかつ ささ 地域生活を支 えるネットワ ーク連絡会 れんらくかい	しょうがいじ しゃ いりょう にゅういん 障害児・者の医療(入院・ ざいたく かか いりょう 在宅)に関わる医療 かんけいしゃ ちゅうしん ふくし 関係者を中心に、福祉・ きょういくかんけいしゃ たいしう 教育関係者を対象とし て、在宅支援に必要な ざいたくし ん ひつよう 情報交換や人的交流を つう じょうがいり かい そくしん 通じて、障害理解を促進 します。	すいしん 推進	△	さまざま けんしゅう じゅうじつ 様々な研修が充実して きたことを踏まえ、実施 ないよう かいさい けんとう 内容や開催について検討 こんねんど かいさい みおく し、今年度は開催を見送 りました。

116	<p>じゅうどしょうがいしゃ 重度障害者 とうにゅういんじ 等入院時コ ミュニケーシ ヨン支援事業 しえんじぎょう</p>	<p>にゅういんさきいりょうき かん いし 入院先医療機関の医師・ かんごしどう いしそつう 看護師等との意思疎通が じゅうぶん はか しょうがいじ 十分に図れない障害児・ しゃ たいしよう にゅういんさき 者を対象に、入院先に コミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。</p>	すいしん 推進	△	<p>にゅういんさきいりょうき かん いし 入院先医療機関の医師・ かんごしどう いしそつう 看護師等との意思疎通が はか 図れるよう、コミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣しました。 いっぽう しんがた 一方で、新型コロナウイル ス感染症以降、感染症 たいさく きょうかとう 対策の強化等により、 がいぶしえんしゃ うけいれこんなん 外部支援者の受入困難と いりょうき かん おお なっている医療機関も多 けんすう げんしょう く、件数が減少している じょうきょう つづ 状況が続いている。</p>
-----	---	---	------------	---	---

					<p>はけんけんすう 【派遣件数】</p> <p>れいわ ねんど けん 令和5年度:10件</p> <p>れいわ ねんど けん 令和6年度:3件</p> <p>そはけんじかん 【総派遣時間】</p> <p>れいわ ねんど かん 令和5年度:364.5時間</p> <p>れいわ ねんど じかん 令和6年度:31.5時間</p>
134	ペアレント レーニング 実施者の養成	<p>こ ほんにん しえん あ 子ども本人への支援と合 わせて重要である</p> <p>ほごしゃ しえん 保護者への支援として、</p> <p>おも しょうがいじつうしょしえん 主に障害児通所支援</p> <p>じぎょうしょとう 事業所等において、職員</p> <p>たい に対しペアレントトレーニ</p> <p>じっししゃようせいけんしゅう ング実施者養成研修を</p> <p>おこな 行います。</p>	すいしん 推進	○	<p>じゅこうしゃ そくざ ほごしゃ 受講者が即座に保護者</p> <p>しえん じっし げんば 支援を実施できる、現場</p> <p>そく ないよう けんしゅう に即した内容で研修を</p> <p>じっし 実施しました。</p>

145	<p>障害特性に 応じた教育 の充実</p>	<p>個別支援学級に加えて、 一般学級においても、 特別な支援を要する児童 生徒が増加し、支援のニ ーズが多様化している 状況を踏まえ、ケースス タディを重視した研修を 充実させます。全ての 教員が障害の状態や 特性に応じた指導・支援 が行えるよう専門性の 向上を図ります。 また、小・中学校の教員 が特別支援学校教諭</p>	実施	○	<p>経験年数やテーマ別に応 じた研修を行いました。 特別支援学校教諭 免許状取得のための 受講料助成を令和2年度 から開始し、申請者全 てに交付しました。</p>
-----	--------------------------------	---	----	---	--

		めんきょじょう しゅとく 免許状を取得するため じゅこうりょうじょせい あら の受講料助成を新たに じっし 実施します。			
146	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネー ターの機能 きょうか 強化とスキル アップ	とくべつし えんきょういく 特別支援教育コーディネ ーター養成研修を受講し かつどう とくべつしえん て活動している特別支援 きょういく 教育コーディネーター きょういん たいしょう さら (教員)を対象に、更な めるスキルアップを目指し め ざ て、事例研究などを ちゅうしん けんしゅう すす 中心とした研修を進め るとともに、関係機関と れんけい きょうか せんもんてき の連携を強化し、専門的 しきつ たか な資質を高めます。	すいしん 推進	○	【コーディネーター ようせいけんしゅう 養成研修】 かい れんぞくこうざ かくかい 10回の連続講座に各回 やく にんじゅこう 約387人受講 けんしゅう 【スキルアップ研修】 ぜん かい の やく にん 全11回/延べ約109人 じゅこう 受講 けんしゅう 【ブラッシュアップ研修】 ぜん かい の やく にん 全10回/延べ約450人 じゅこう 受講

					けんしゅう 【リラーニング研修】 ぜん かい の やく にんじゅこう 全6回/延べ約96人受講
161	ふれあいショ ップ等を活用 した障害者 就労に関する理解促進	あら かいぎょう じえいあーる 新たに開業する J R かんないえききたぐちこう かした 関内駅北口高架下の しゅうろうけいはつし せつおよ 就労啓発施設及び しちょうしゃない 市庁舎内のふれあいショ ップをはじめ、既存のふ れあいショップ等の運営 とう うんえい を通じて、就労に関する りかい そくしん はか 理解の促進を図ります。	すいしん 推進	△	きそん 既存のふれあいショップ うんえい つう において、運営を通じ しゅうろうり かい そくしん 就労理解を促進しまし た。他方、収支不採算の じえいあーるかんないえき ために、J R 関内駅 きたぐちこう かした しゅうろうけいはつ 北口高架下の就労啓発 しせつ 施設やふれあいショップ じぎょうしゃてつたい の事業者撤退があつたた てきせつ てつづ おこな め、適切な手続きを行 いました。